

<b>【技術の名称】</b> MZ プレート構法 ー柱主筋および梁主筋に機械式定着を用いた 最上階の柱梁接合部配筋構法ー	性能証明番号：GBRC 性能証明 第 02-05 号 性能証明発効日：2002 年 7 月 2 日
	<b>【取得者】</b> 前田建設工業株式会社 株式会社銭高組

**【技術の概要】**

本技術は、鉄筋コンクリート（RC）造骨組の最上階柱梁接合部において、機械式定着具を用いて柱主筋および梁主筋の端部定着を行う技術である。本技術で用いる柱主筋および梁主筋は、JIS G 3112 に規定する異形棒鋼に適合するねじ節鉄筋とし、定着金物はそれぞれのねじ節鉄筋用に開発された既製品を用いることにしている。本技術の特徴は、最上階柱梁接合部において、柱主筋および梁主筋の定着力の伝達が支障なく行われるように、独自の配筋詳細を提案している点である。

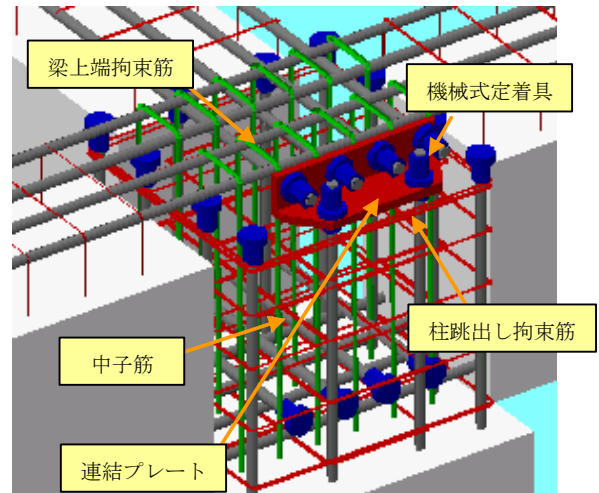
**【技術開発の趣旨】**

最上階柱梁接合部に柱主筋または梁主筋を定着する場合、従来の折り曲げフックを用いた鉄筋の定着構法によると、配筋詳細が煩雑となって、配筋施工が困難になるなどの問題が生じる。本構法は、そのような問題を解消し、最上階柱梁接合部の配筋施工の合理化と十分な構造性能の確保を図ることを意図して開発したものである。

**【性能証明の内容】**

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者提案の構法によって構築される最上階の L 形および T 形の柱梁接合部は、本構法設計指針で提示している終局耐力を有し、かつ、長期荷重時および短期荷重時に構造性能を損なう恐れのある損傷を起こさないと判断される。



MZ プレート構法の配筋要領

**■本構法の適用範囲**

- (1) 種別：  
鉄筋コンクリート造および壁式ラーメン構造
- (2) 適用部位：  
最上階の柱梁接合部で、柱梁接合部は現場打ちとした場合
- (3) 柱梁接合部のコンクリート設計基準強度：  
Fc24～36N/mm<sup>2</sup>
- (4) 定着鉄筋の種類\*：  
SD295A,B, SD345, SD390, SD490
- (5) 定着鉄筋の径\*：D16～D41
- (6) 機械式定着金物：  
本構法の設計指針で指定した既製品

\*：鉄筋メーカーにより制限がある。

**【本技術の問合せ先】**

前田建設工業株式会社 建築事業本部建築技術部 担当者：成瀬忠 E-mail：tnaruse@jcity.maeda.co.jp  
〒101-0064 東京都千代田区猿楽町 2-8-8 猿楽町ビル Tel：03-5217-9542 Fax：03-5217-9641  
株式会社銭高組 技術研究所 担当者：五十嵐治人 E-mail：igarashi\_haruhito@zenitaka.co.jp  
〒102-8678 東京都千代田区一番町 31 Tel：03-5210-2440 Fax：03-5210-2462